

分野	専門分野Ⅱ —成人看護学—	対象学年	2
		時期	前期～後期
授業科目	成人看護実践論Ⅲ Adult Nursing PracticeⅢ 呼吸機能障害をもつ人の看護 循環機能障害をもつ人の看護	単位	1
		時間	30
		方法	講義
担当教員	始業後、担当教員一覧および授業ガイダンスにて確認		
科目責任者	担当者複数の場合は、担当教員一覧にて確認		
授業概要	<p>成人看護実践論Ⅲでは生命維持のため外界から物質をやりとりする機能とする呼吸器・循環器機能の障害をもつ人の看護について学ぶ。このような機能障害によっておこる対象の状態を把握するためのフィジカルアセスメントや成人期に多発する代表的な疾患を取り上げ、その疾患の特徴をふまえた看護の実践を学ぶ。</p> <p>看護の具体的な援助方法では、肺がんで成人期にある人の事例を通して、全人的苦痛の意味を学び終末期における看護過程演習で展開する。様々な健康問題を抱える対象を理解し、常に対象を尊重し個別性に合わせた看護を考える。</p>		
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 呼吸機能に障害をもつ人の看護を理解する。 2. 循環機能に障害をもつ人の看護を理解する。 3. 肺癌の終末期の対象の事例を通して、全人的苦痛のある人の看護支援方法を理解する 		
評価方法	<p>終講試験 100点</p> <p>呼吸機能障害をもつ人の看護 1～8回 54点 9回 6点</p> <p>循環機能障害をもつ人の看護 10～14回 40点</p>		
使用テキスト	<p>系統看護学講座 専門Ⅱ 呼吸器【2】成人看護学 医学書院</p> <p>系統看護学講座 専門Ⅱ 循環器【3】成人看護学 医学書院</p>		
参考図書			
メッセージ	<p>病態生理学各論Ⅲを想起しながら、呼吸器疾患をもつ人の安楽へとつながる看護について理解していきましょう。循環器疾患をもつ人の特徴と看護について学びます。疾患について事前学習をして授業に臨みましょう。</p>		

回数	単元・主題	授業のねらい	授業内容	方法	備考
1	I 呼吸器疾患の動向と看護の全体像	<ol style="list-style-type: none"> 1.呼吸器疾患の動向を理解する 2.呼吸器機能の障害のある人の看護の全体像を理解する 	呼吸器疾患の動向、呼吸器の障害のある人の看護の全体像（呼吸機能の障害のしくみ、検査、治療・処置、身体・こころ・社会的側面・スピリチュアル的側面への影響、予防、急性期の看護、回復期・慢性期の看護、終末期の看護）	講義	

2	Ⅱ呼吸器疾患の 主な症状に対す る看護	主な症状に対する看護を理解 する	<p>1. 咳嗽、喀痰のある患者の看護： 咳嗽・喀痰の機序、咳嗽・喀痰への援助 （咳嗽誘発の抑制、咳嗽によるエネルギー消 費の抑制、気道浄化・気道クリアランス）</p> <p>2. 血痰、喀血のある患者の看護 血痰・喀血の機序、定義、血痰・喀血時の 援助、再出血の予防</p> <p>3. 胸痛のある患者の看護 胸痛の機序、援助</p> <p>4. 呼吸困難感のある患者の看護 呼吸困難の機序、呼吸困難の客観的評価、援助 （気道の確保、気道浄化・気道クリアランス、 酸素吸入、酸素化のモニタリング、呼吸法、 安楽な体位）</p> <p>5. 共通する援助とスタンダードプリコーション 精神的援助、セルフケア指導（生活指導）</p>	講義 GW	
3		<p>1. 代表的な検査を受ける患者の 看護を理解する</p> <p>2. 吸入療法を受ける患者の看護 を理解する</p>	<p>1. 代表的な検査と看護 内視鏡検査（気管支鏡検査、気管支鏡肺生検、 気管支鏡肺胞洗浄、超音波気管支鏡ガイド下針 生検、縦隔鏡検査）、呼吸機能検査、ガス交換 機能検査</p> <p>2. 吸入療法を受ける患者の看護 噴霧吸入、酸素吸入、在宅酸素療法</p>	講義 GW	
4	Ⅲ呼吸器疾患の 代表的な検査と 治療の看護 1. 人工呼吸器 を装着・胸腔ド レナージを受け る患者の看護 2. 手術療法を 受ける患者の看 護	<p>1. 人工呼吸器を装着する人の看 護を理解する</p> <p>2. 胸腔ドレナージを受ける患者 の看護を理解する</p> <p>3. 手術療法を受ける患者の看護 を理解する</p>	<p>1. 人工呼吸器を装着する人の看護 人工呼吸器の適応、人工呼吸器の基本構造、 陽圧換気による影響、陽圧換気の様式、人工 呼吸器の管理、気管挿管、気管切開、非侵襲 的陽圧換気法、人工呼吸器装着時の看護目標、 人工呼吸器装着時の予防的援助（人工呼吸器 関連肺炎、無気肺、感染、スキントラブル、 廃用症候群、深部静脈血栓）</p> <p>2. 胸腔ドレナージを受ける患者の看護 胸腔ドレナージのしくみとドレナージ中の 管理</p> <p>3. 手術を受ける患者の看護 手術前・中・後の看護目標とアセスメントお よび看護活動</p>	講義 GW	

5	IV呼吸器疾患を持つ人の看護 1. 慢性閉塞性肺疾患・呼吸器感染症の患者の看護	1.慢性閉塞性肺疾患の患者の看護を理解する 2.呼吸器感染症の患者の看護を理解する	慢性閉塞性肺疾患および肺炎に罹患した患者の事例をもとにアセスメントと援助を学ぶ。	講義 GW	
6	2. 肺血栓塞栓症・急性呼吸窮迫症候群・睡眠時無呼吸症候群の患者の看護	1.肺血栓塞栓症の患者の看護を理解する 2.急性呼吸窮迫症候群の患者の看護を理解する 3.睡眠時無呼吸症候群の患者の看護を理解する	1.肺血栓塞栓症の患者の看護 原因と予防、診断治療と援助 2.急性呼吸窮迫症候群の患者の看護 原因、診断治療と援助 3.睡眠時無呼吸症候群の患者の看護 原因と予防、診断治療と援助、 エプワス睡眠スケール	講義 GW	
7	3. 気胸の患者の看護	気胸の患者の看護を理解する	原因、治療と援助、胸腔鏡下にて肺部分切除術を受ける患者の看護	講義 GW	
8	4. 肺がんの患者の看護	肺がんの患者の看護を理解する	化学療法・放射線療法、手術療法を受ける患者の看護	講義 GW	
9	V終末期にある人の看護	肺がんを持つ人の事例を通じ終末期にある人の看護を理解する	トータルディスニアの視点からの理解、主な援助 WHO 方式 3 段階除痛ラダー	講義 GW	外部講師
10	循環器疾患の代表的な検査と主な症状に対する看護	1.主な症状に対する看護を理解する 2.代表的な検査を受ける患者の看護を理解する	1.胸痛に対する看護 2.動悸に対する看護 3.浮腫に対する看護 4.呼吸困難に対する看護 5.チアノーゼに対する看護 6.失神に対する看護 7.心電図検査を受ける患者の看護 8.運動負荷試験を受ける患者の看護	講義	
11		不整脈の患者の看護を理解する	1.不整脈患者の看護 2.薬物療法の看護 3.ペースメーカーを装着した患者の看護 挿入後の生活指導	講義 GW	
12	循環器疾患をもつ人の看護	虚血性心疾患の患者の看護を理解する	1.心臓カテーテル法を受ける患者の看護 2.血行動態モニタリングを受ける患者の看護 3.虚血性心疾患の患者の看護 労作性狭心症、冠攣縮性狭心症患者の看護 急性冠症候群患者の看護 4.カテーテル治療を受ける患者の看護 冠動脈インターベンションの看護 5.冠動脈バイパス術を受ける患者の看護 6.心臓リハビリテーションと看護	講義	
13		心不全の患者の看護を理解する	1.心不全患者の看護 心不全の病期に応じた援助 病態に合わせた生活を維持するための看護	講義 GW	
14		1.大動脈疾患の患者の看護を理解する 2.手術療法を受ける患者の看護を理解する	1.動脈系疾患患者の看護 2.大血管再建術を受ける患者の看護 3.弁置換術、弁形成術を受ける患者の看護 4.手術を受ける患者の看護	講義	
15			終講試験		